

「ものづくり基盤研究会」 開催案内  
— 中性子・放射光を利用した食品、構造材料における課題解決に向けた評価技術 —

主催：中性子産業利用推進協議会（IUSNA）  
総合科学研究機構（CROSS）

共催：特定放射光施設ユーザ共同体（SpRUC） 残留応力と強度評価研究会  
日本原子力研究開発機構（JAEA）マテリアル先端リサーチインフラ

協賛：J-PARC MLF利用者懇談会

後援：茨城県

【開催趣旨】

ものづくり基盤研究会では、中性子・放射光を活用し、材料、部材の内部応力、ひずみを中心とした評価に関する情報共有を図る場を提供することにより、測定技術及び社会が抱えている課題をより深く理解し、更なる活用につなげるべく、基礎的事項から最新の測定技術までを知る場を設定してきました。

本年度は、ものづくりを構造材料に限定せず、食品に枠を広げた少し変わった研究会を開催します。異分野の分析技術から構造材料への新たなアイデアの発掘、融合といったイノベーションを切り開くきっかけにつながる研究会にしたいと思いますので、ぜひ皆様のご参加をお待ちしております。

記

1. 開催日時：2026年2月5日（木） 13:00～16:40

2. 開催場所：ZOOMによるリモート開催。

3. プログラム

13:00～13:05	開催趣旨説明	主査 菖蒲敬久（JAEA）
13:05～13:45	【放射光、SAXS】時分割USAXSによるレンネット凝乳挙動のその場観察	金田 勇（酪農大学）
13:45～14:25	【中性子、SANS、LTAS、TNRF】中性子を利用した構造食品科学の研究	中川 洋、平田 芳信（JAEA）
14:25～14:40	休憩	
14:40～15:20	【中性子、匠】J-PARC 匠を利用して鉄鋼丸棒引抜き加工材の残留応力評価	西田 智（秋山精鋼株式会社）
15:20～15:50	【中性子、RESA】中性子回折法を利用したWAAM法による金属積層造形 応力分布評価（案）	熊谷 正芳（東京都市大学）
15:50～16:20	【放射光、XRD】放射光回折法を利用したPBF法による金属積層造形 ひずみ分布評価（案）	菖蒲 敬久（JAEA）
16:20～16:35	J-PARC、JRR-3、SPring-8の現状について	菖蒲 敬久（JAEA）
16:35～16:40	閉会のあいさつ	主査 菖蒲敬久（JAEA）

4. 参加費

無料

5. 申込方法：以下の申込フォームからお申し込みください。（受付締切：2月2日（月））

<https://forms.office.com/r/Fc4sqbyYLC>

Microsoft Forms がご利用できない場合には、(1)お名前・ふりがな、(2)ご所属、(3)連絡先(E-mail address)をメール本文にご記入の上、中性子産業利用推進協議会事務局までメールにてお申込みください。

メール申込先 E-mail: [info@j-neutron.com](mailto:info@j-neutron.com)

※ZOOM の接続 URL は、受付締切後に参加を申込まれた方にお知らせします。

#### 7. アンケートのお願い

研究会終了後、次回開催の参考とするため、アンケートを行います。

以下のフォームへのご回答をお願いいたします。

(準備中)